

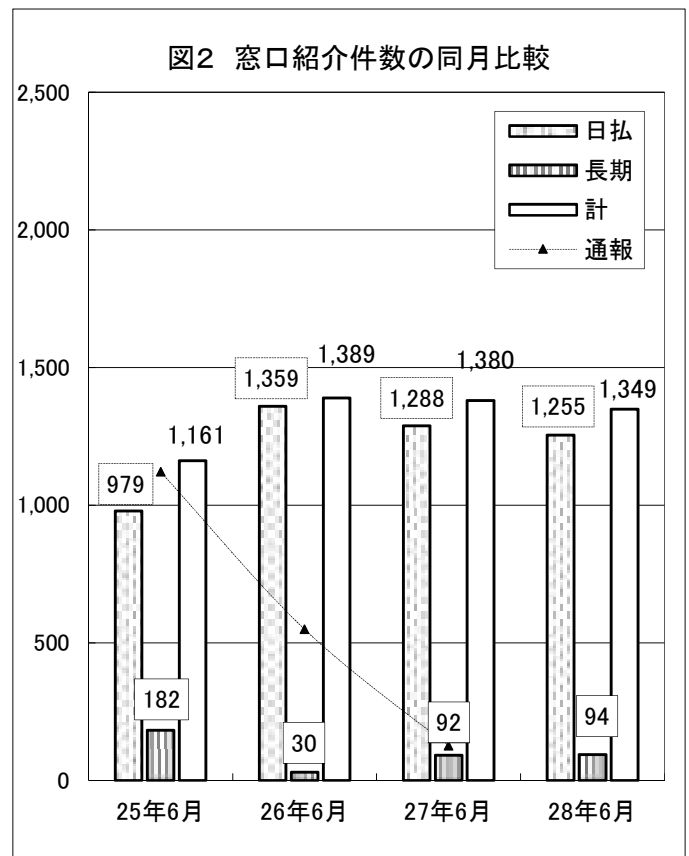
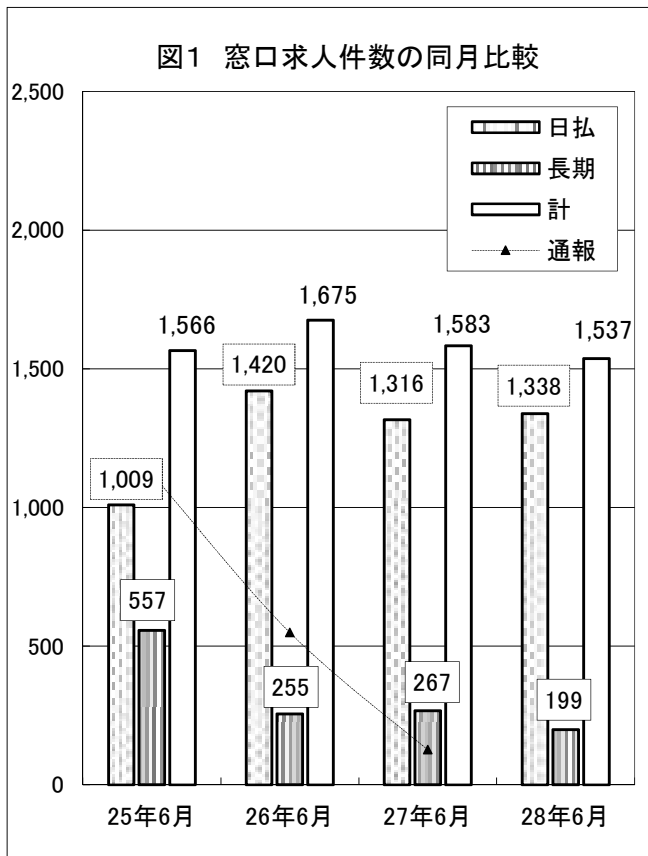
統計月報

統計月報 平成28年7月
 公益財団法人 城北労働・福祉センター
 〒111-0021 東京都台東区日本堤2-2-11
 TEL 03(3874)8089 FAX 03(3871)2460
<http://homepage3.nifty.com/johoku/>

～職業紹介事業の実績(6月)～

(1) センター窓口における求人件数及び紹介件数の概要

職業紹介事業におけるセンター窓口からの求人件数及び紹介件数は、図1及び図2のとおりであった。平成28年6月の窓口求人件数は1,537件で、27年6月に比べて46件の減少(△2.9%)となった。窓口紹介件数は1,349件となり、27年6月に比べて31件の減少(△2.2%)となった。窓口紹介件数を雇用期間区分別にみると、日払は前年同月比で33件の減少(△2.6%)、長期は2件の増加(2.2%)となった。



窓口求人	25年6月	26年6月	27年6月	28年6月	前年比	増減率(%)
日払	1,009	1,420	1,316	1,338	22	1.7
長期	557	255	267	199	△ 68	△ 25.5
計	1,566	1,675	1,583	1,537	△ 46	△ 2.9
(参考)						
通報	1,121	549	126			
求人総数	2,687	2,224	1,709			

窓口紹介	25年6月	26年6月	27年6月	28年6月	前年比	増減率(%)
日払	979	1,359	1,288	1,255	△ 33	△ 2.6
長期	182	30	92	94	2	2.2
計	1,161	1,389	1,380	1,349	△ 31	△ 2.2
(参考)						
通報	1,121	549	126			
紹介総数	2,282	1,938	1,506			

* 「長期」は、求人・紹介ともに延べ数(人数×日数)
 * 「通報」とは、登録事業所へ労働者が直接就労した場合で、かつ、その事業所から通報があった件数であるが、通報は平成27年12月末をもって廃止した。

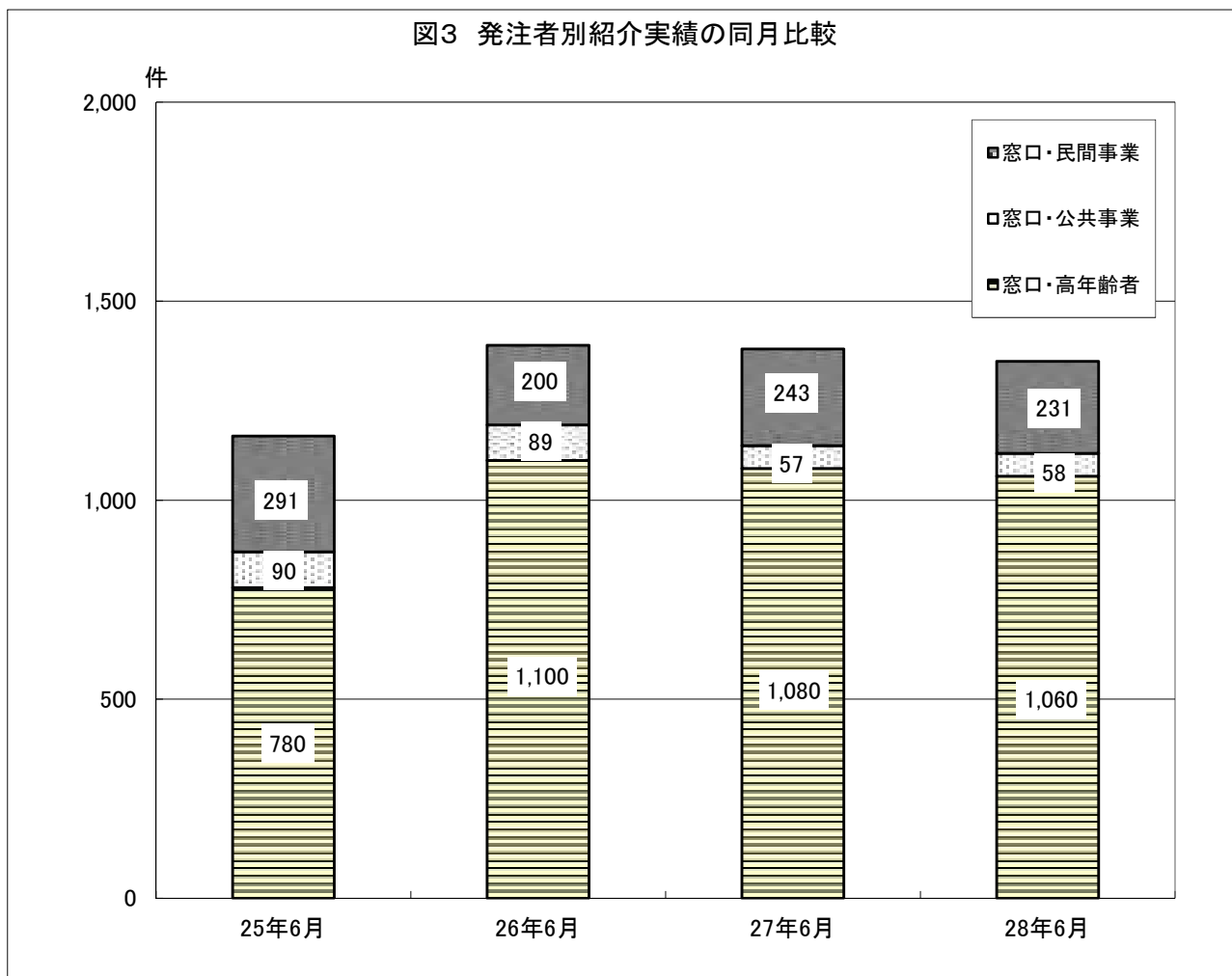
(2) 紹介区分別

センター窓口からの紹介実績は、紹介区分（仕事の内容（＝発注者）別）で以下のように分けられる。

- ①民間事業
- ②公共事業（特別就労対策事業以外で、都や区など公共団体が発注している清掃等の仕事）
- ③東京都の「高年齢者特別就労対策事業」（＝輪番紹介）

図3より、センター窓口からの紹介実績をみると、

- ①「民間事業」は12件の減少（前年同月比 Δ 4.9%、日払は10件の減少、長期は2件の減少）
 - ②「公共事業」は1件の増加（前年同月比1.8%）
 - ③「高年齢者特別就労」は20件の減少（前年同月比 Δ 1.9%）
- 窓口計では、31件の減少（前年同月比 Δ 2.2%）となった。



	25年6月	26年6月	27年6月	28年6月	前年比	増減率(%)
窓口・民間事業	291	200	243	231	Δ 12	Δ 4.9
窓口・公共事業	90	89	57	58	1	1.8
窓口・高年齢者	780	1,100	1,080	1,060	Δ 20	Δ 1.9
窓口計	1,161	1,389	1,380	1,349	Δ 31	Δ 2.2

(3) 紹介実員数

ここでは紹介の延べ件数ではなく、『何人』に仕事を紹介したかという観点から、紹介実績の動向をみる。図4のとおり平成28年6月の紹介実員数(=窓口計)は1,260人、27年6月に比べ32人の減少(△2.5%)となった。

民間事業では、日払の紹介実員数は141人(前年151人)と10人の減少となり、長期は3人(前年4人)と1人の減少となった。輪番による公的就労を除いた民間ベースの窓口紹介実績は一日平均6.5人であった。

図4 紹介実員数の同月比較

		27年6月	28年6月	前年同月比増減数	増減率(%)
窓 口	民間事業	155	144	△ 11	△ 7.1
	公共事業	57	56	△ 1	△ 1.8
	高齢者特別就労	1,080	1,060	△ 20	△ 1.9
紹介実員数(窓口計)		1,292	1,260	△ 32	△ 2.5

※労働者の高齢化、建設現場の機械化、就業構造の変化などにより、日雇労働市場が衰退し、野宿が常態化している労働者も少なくない。

こうした状況の中で、都や区の公共事業を受注した事業所に積極的に働きかけて、センターに未登録であれば登録を促すとともに、登録済みの事業所にも定期的に訪問して、建設・土木だけでなく、高齢者にも従事しやすい清掃や造園の民間求人確保に努めている。

～生活相談・応急援護事業の実績(6月)～

(1) 受付総数・相談件数(一日当たり受付数・相談数)

図5のとおり平成28年6月の生活相談件数は443件で、27年6月に比べ150件の減少(△25.3%/1日平均)となり、78か月連続して前年同月比マイナスとなった。

新規来所件数は12件であった。

図5 受付・相談の月総数及び一日平均の前年同月比較

	月総数				一日平均			
	27年6月	28年6月	増減数	増減率(%)	27年6月	28年6月	増減数	
受付	567	429	△ 138	△ 24.3	25.8	19.5	△ 6.3	
新規	11	12	1	9.1	0.5	0.5	0.0	
生活相談	593	443	△ 150	△ 25.3	27.0	20.1	△ 6.9	
内 訳	医療相談	4	9	5	125.0	0.2	0.4	0.2
	生活保護等	5	2	△ 3	△ 60.0	0.2	0.1	△ 0.1
	労働相談	22	33	11	50.0	1.0	1.5	0.5
	応急援護	469	306	△ 163	△ 34.8	21.3	13.9	△ 7.4
	その他相談	93	93	0	0.0	4.2	4.2	0.0
相談総数(計)	604	455	△ 149	△ 24.7	27.5	20.7	△ 6.8	

* 来所者が1回の受付で複数の相談を行う場合があるため、受付件数と相談件数は一致しない

(2) 応急援護の内訳

図6-1及び図6-2のとおり、宿泊相談は月合計で前年同月比115件の減少(△43.1%)、給食相談は43件の減少(△31.2%)、物品相談は9件の減少(△14.8%)、交通費相談は4件の増加(133.3%)となった。

なお、6月の開所日数は、本年度と27年度は22日間、26年度は21日間、25年度は20日間であった。

図6-1 応急援護数(内訳)の同月比較

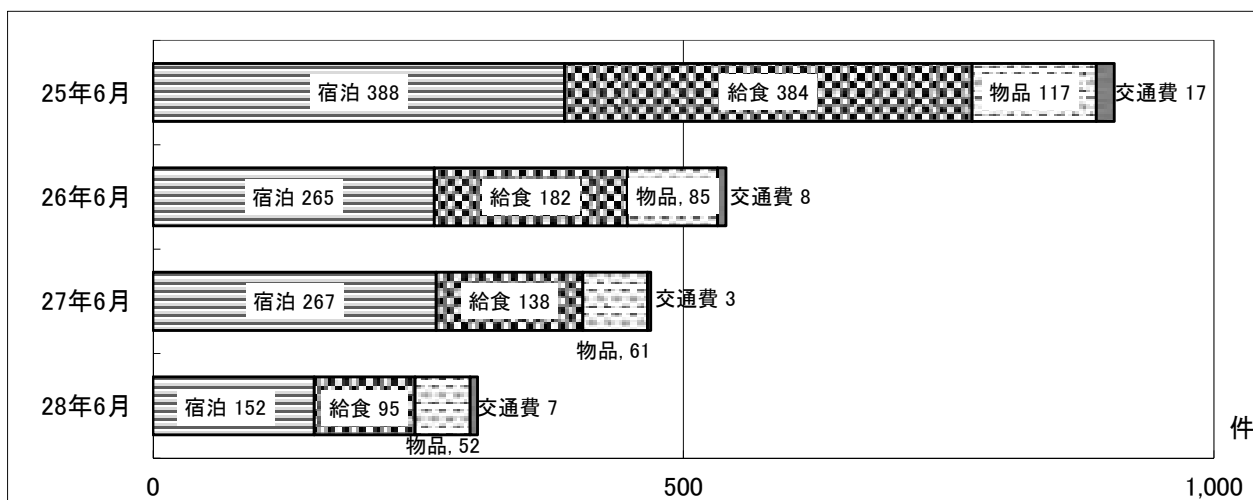


図6-2 応急援護数一日平均(内訳)の同月比較

